

教育センター研修だより



南砺市教育センター

南砺市スタディ・メイト等研修会

下記の通り、南砺市に勤務するスタディ・メイト及び適応指導員の先生方を対象に、「スタディ・メイト等研修会」を実施しました。

1 日時	平成30年6月26日（火） 14:00～16:00
2 会場	南砺市役所 井波庁舎 3階 多目的ホール
3 講師	富山県総合教育センター 教育相談部 特別支援教育担当 研究主事 植野 雄太 先生
4 参加者	44名 ・スタディ・メイト 39名（小学校29名 中学校10名 ※1名適応指導員兼ねる） ・適応指導員 4名（小学校2名 中学校2名） ・なんとっ子まなびサポーター1名（小学校）
5 内容	特別な支援を要する子供への具体的な支援の在り方

【研修会の内容】

1 特別支援教育支援員の役割

※「『特別支援教育支援員』を活用するために」平成19年6月文部科学省より抜粋

- ① 基本的な生活習慣確立のための日常生活上の介助
- ② 発達障害の児童生徒に対する学習支援
- ③ 学習活動、教室間移動等における介助
- ④ 児童生徒の健康・安全確保関係
- ⑤ 運動会（体育大会）、学習発表会、修学旅行等の学校行事における介助
- ⑥ 周囲の児童生徒の障害理解促進
 - ・友達としてできる支援や適切な接し方を、担任と協力しながら周囲の児童生徒に伝える。
 - ・適切な接し方をしている児童生徒の様子を見かけたら、その場の状況に応じて賞賛する。
 - ・得意なことや苦手なこと、理解しにくい行動を取る理由等を、理解しやすいように伝える。

2 適応指導員の役割

※「教育支援センター（適応指導教室）整備指針（試案）」文部科学省HPより

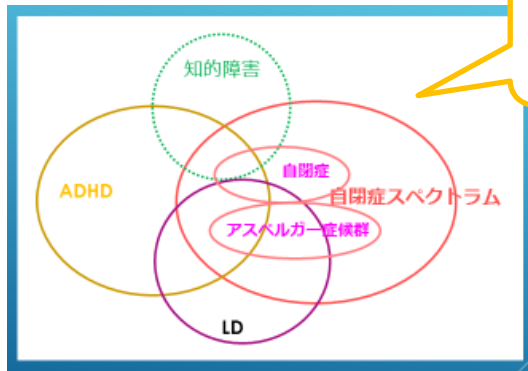
- ① 相談・適応指導
 - 児童生徒の立場に立ち、人命や人格を尊重した人間味のある温かい相談・適応指導
 - 共感的な理解に立ちつつ、児童生徒の自立を支援する立場から
 - 実情に応じて、家庭訪問や学校・他機関との連携
- ②各教科等の学習指導
 - 在籍校とも連絡をとり、センター及び児童生徒の実情に応じて。
- ③集団指導、体験活動
 - 個別指導と併せて。センターや児童生徒の実情に応じて。
- ④保護者への助言・援助
 - 不登校の様態に応じて適切に。

児童生徒の「個人情報の取り扱い」には、十分に配慮を！！

3 障害の特性について考える

一人一人をじっくりと見よう

一人一人の重なり方は違う。
特性を見極め、指導・支援をしていくことが大切である。



<LD への支援>

- 具体的で簡潔（分かりやすい）に話す
- 話す意欲を高める 話を代弁する
- 個に応じた補助具やICT等を利用するなど

<自閉症スペクトラム障害への支援>

- 説明・指示は、短く 具体的に 一つずつする
- 視覚的に示す（イラスト・マーク・写真等）
- 変更は早めに伝える
- 肯定的な表現を用いる
- 落ち着ける場所を確保する など

<ADHD への支援>

- 学習環境を整備する（座席、掲示物、予定表等）
- 課題内容や活動量の調整、分割して提示する
- 活動内容やルールを分かりやすく伝える
- 注目を促してから話す
- 作業後の確認を促す など

+ プラスの見方で +

- 苦戦している子供の気持ちを内から理解することに努めましょう。
マイナス面は、その子供の「困り感」と見て、支援に当たしましょう。
- どのような支援があるか、より具体的に考えましょう。

++ プラスの見方 ++

興奮しやすい⇒何事にも一生懸命、情熱的

けがをしやすい⇒活発



見たことありますか

特別支援教育 学びQ&A



富山県教育委員会

「特別支援教育 学びQ&A」（富山県教育委員会）には、「特性ある児童生徒への対応」についての事例と、指導・支援の例が載っています。各学校にある冊子です。どうぞ見てみてください。



参加者の感想より

- 発達障害の特性について改めて学習し、日頃接している子供たちがどこで困っているのかを考えさせられました。障害の特性、困り感をプラスの方向に変え、声かけをしていきたいと思いました。最近、私自身困っていることは、注意するとすぐ怒り出してしまう子供に対する対応の仕方です。その子供がマイナスにならない声かけを考えていきたいです。
- 障害の特性をプラスに読みかえて考えれば、特別な支援が必要な子供を見ているときでも、優しい気持ちで対応していけると思いました。
- 模擬体験を通して、児童生徒の心の苦しみの一部を知り、少しでも児童生徒の気持ちを理解して、声をかけたいと思いました。
- グループで考えた事例が、まさしく毎朝どう支援すればよいか悩んでいることだったので、他のスタディメイトの皆さんの支援方法を聞くことができよかったです。明日からの支援に役立てていきます。
- 子供たち一人一人の困りに対して、担任の先生と話し合いながら、よりよい対応ができるよう、がんばっていききたいと思います。具体的な対応の仕方、参考にさせていただきます。